



3日間培地交換なしで、 iPS/ES 細胞の維持培養が可能!

- オンフィーダー条件下でヒト多能性幹細胞の性質を維持したまま増殖を抑える、新しいコンセプトの研究用基礎培養液です。
- ヒト多能性幹細胞用調製培養液の基礎培養液 (DMEM/F12等) と完全置換するだけで使用できます。
- 通常の培養環境 (37°C・5%CO₂) で 3 日間程度の維持が可能です。(培養液の交換は不要)
- 本品による増殖制御培養後に、普段ご使用の多能性幹細胞用培養液に変更することにより増殖を再開し試験に用いることができます。
- 本品はグルコースを含有しません。

注意事項

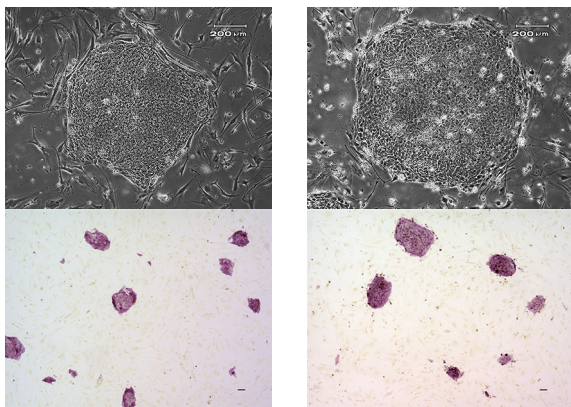
- ・本品はオンフィーダー培養専用です。フィーダーフリー条件下ではご使用になれません。
- ・本品は KSR, bFGF などを含みません。使用時に適宜添加してご使用ください。
- ・すべてのヒト多能性幹細胞株で試験はしていません。また、本品は完全に増殖を阻害するものではありません。
- ・増殖制御培養時の細胞コンディションは増殖制御培養前の細胞の状態に依存します。
- ・本品は研究用試薬です。ヒトや動物の治療・診断目的ではご使用になれません。
- ・2~8°Cで保存してください。

Xyltech BOF-01を用いた増殖制御培養例

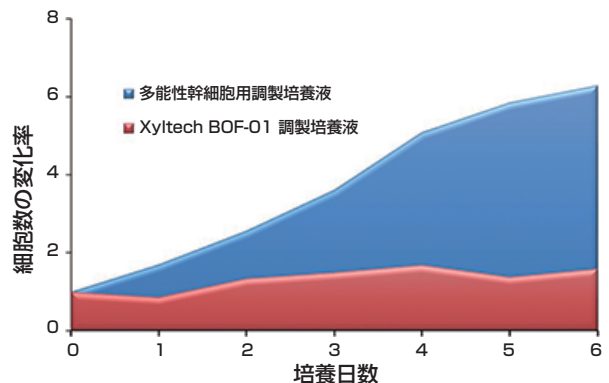


細胞コロニー形態と増殖制御効果

- 増殖制御培養前後のヒト iPS 細胞のコロニー形態とアルカリフォスファターゼ染色像 (201B7株)



- ヒト iPS 細胞におけるヒト多能性幹細胞調製培養液との細胞増殖能比較 (201B7株)



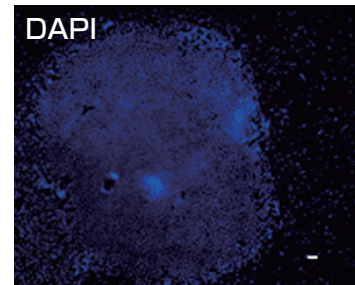
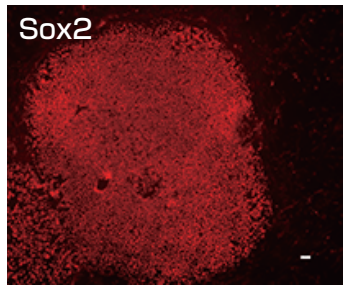
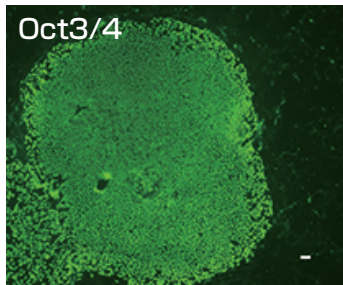
※ヒト多能性幹細胞用調製培養液及び Xyltech BOF-01 調製培養液の組成は下記の Reference に基づいています。

Curr Protoc Stem Cell Biol.2009 Jun; Chapter 4: Unit 4A.2.

Xyltech BOF-01を用いて培養することで、細胞の性質を維持したまま増殖を抑えることを確認しました。

免疫染色による未分化マーカーの発現状態

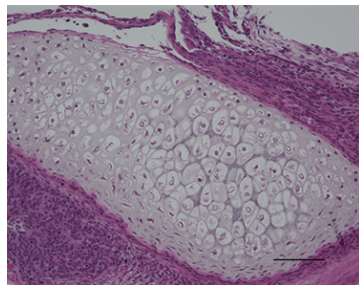
- Xyltech BOF-01調製培養液でヒト iPS 細胞を3日間増殖制御培養した後に、免疫染色にて各種未分化マーカーの発現を確認した (201B7株)。



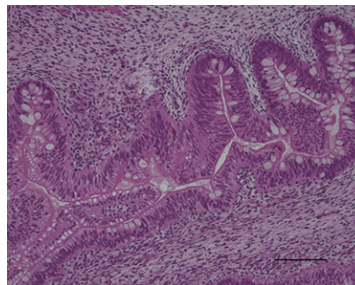
Xyltech BOF-01を用いた増殖制御培養後も各種未分化マーカーの発現により未分化性が維持されていることを確認しました。

テラトーマ形成試験による三胚葉への分化能

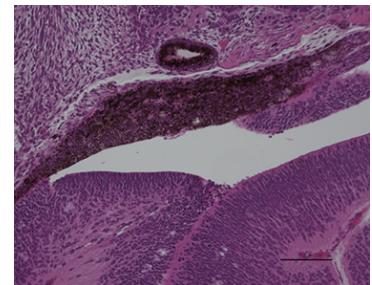
- Xyltech BOF-01 調製培養液で3日間増殖制御培養したヒト iPS 細胞を免疫不全マウスに移植しテラトーマを形成させた (201B7株)。



中胚葉
(軟骨細胞)



内胚葉
(消化管上皮細胞)

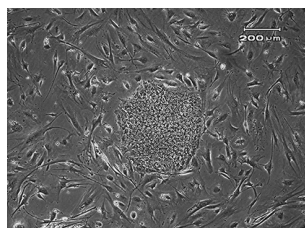


外胚葉
(色素細胞)

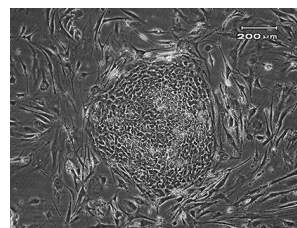
Xyltech BOF-01を用いた増殖制御培養後も多分化能が維持されていることを確認しました。

増殖制御培養中のコロニー状態の変化について

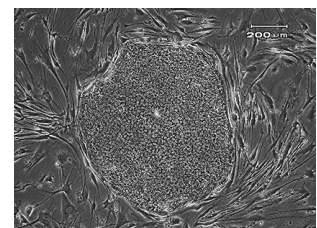
Xyltech BOF-01 調製培養液で増殖制御したヒトiPS細胞は、コロニー状態(緻密性等)が変化する場合がありますが、増殖用培養液に変更後、元の状態に戻ります。



(通常培養時)



(増殖制御培養中)



(増殖制御培養後 24h)

商品コード	品名	使用期限	保存温度	容量(包装)
87-280	Xyltech BOF-01	製造後 12 カ月	2~8℃	100ml(P)

製品に関する
お問い合わせ先

株式会社 **ブルボン再生医科学研究所**

〒945-0055 新潟県柏崎市駅前1丁目3番1号

TEL 0257-23-2769

E-mail support@bourbon-barl.co.jp

URL <https://www.bourbon-barl.co.jp>

販売に関する
お問い合わせ先



ニプロ株式会社 再生医療事業部

〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町3番26号

TEL 06-6310-6627

E-mail saisei-goiken@nipro.co.jp